

かるたの ように、上の句につづく 下の句を ア～カ から えらんで、記号を 書きましょう。 こたえ

※ 記号が 合って いれば ○

ア きり あき ゆうぐ
霧たちのぼる秋の夕暮れ

ウ みかさ やま い つき
三笠の山に出でし月かも

オ なが もみじ
流れもあへぬ紅葉なりけり

イ ごころ はな ち
しづ心なく花の散るらむ

エ ころも あま かぐやま
衣ほすてふ天の香具山

カ からくれなゐに水くくるとは

① はる す なつ き しろたえ
春過ぎて夏来にけらし白妙の

じとうてんのう
持統天皇

こたえ

エ

② かみよ き たつたがわ
ちはやぶる神代も聞かず竜田川

ありわらのなりひら
在原業平

こたえ

カ

③ ひさかた ひかり はる ひ
久方の光のどけき春の日に

きのとものり
紀友則

こたえ

イ

④ やまがわ かぜ
山川に風のかけたるしがらみは

はるみちのつらき
春道列樹

こたえ

オ

⑤ あま はら み かすが
天の原ふりさけ見れば春日なる

あべのなかまろ
阿倍仲麻呂

こたえ

ウ

⑥ むらさめ つゆ まき は
村雨の露もまだひぬ榎の葉に

じゃくれん
寂蓮

こたえ

ア

